

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会福祉審議会第25回(平成28年度第1回) 高齢者福祉等専門分科会				
事務局 (担当課)		保険高齢部 高齢政策課 電話042-769-8354(直通)				
開催日時		平成28年7月5日(火)午後2時00分~午後4時00分				
開催場所		相模原市立総合学習センター 2階 セミナールーム				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	16人(保険高齢部長、高齢政策課長他14人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	5人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 専門分科会長等の選出 (2) 新しい介護予防・日常生活支援総合事業について ア 基準緩和及び住民主体サービスについて イ 総合事業の移行に伴う事業の廃止について (3) 第6期相模原市高齢者保健福祉計画の進行管理について (4) その他 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

保険高齢部長あいさつ

3 議題

(1) 専門分科会長等の選出

相模原市社会福祉審議会条例第 6 条第 4 項の規定により、委員の互選によって戸塚委員が専門分科会長に選任された。

また、同条例第 6 条第 6 項の規定により、戸塚専門分科会長の指名により、大久保委員が職務代理者に選任された。

(2) 新しい介護予防・日常生活支援総合事業について

ア 基準緩和及び住民主体サービスについて

介護予防・日常生活支援総合事業における基準緩和及び住民主体サービスの実施について、平成 2 8 年 1 1 月から実施する事業内容、基準及び今後のスケジュール等について事務局から説明を行った。

質疑・意見等

住民主体サービスの事業内容や単価については、ボランティア団体等との調整を行ったうえで検討しているのか。

高齢者サロン等の単価を参考にしたうえで単価の設定を行っている。今後、地域ケア会議等を通じて説明し、意見を伺いたいと考えている。

現在、ボランティアで行っているサービスでは、介護保険のサービス等を参考に 1 回 2 0 0 円としたが、今回説明があった住民主体サービスとは単価が異なってくる。そういった違いがあることから、事前にボランティア団体等への説明が必要である。

地域や団体等の意見を反映することはできるのか。

介護保険サービスの枠組みの中で検討を行っていくこととなるが、今後、制度を運用していく中で地域や団体、利用者等の意見を聴き、より使い勝手の良い制度にしていきたいと考えている。

住民主体サービスを実施するうえで必要となる研修は、どの程度の受講日数となるのか。また、研修はサービスを提供する者すべて受ける必要があるのか。

2日間程度の研修を想定しており、利用者受入5名につき1名を研修修了者としている。

ボランティアに対するハートポイント制度の適用状況はどうか。

現在、約1,000名の方に登録をいただいている。

基準緩和及び住民主体サービスの参入の地域が偏った場合に、規制又は誘導を行う予定はあるのか。

現段階では、規制又は誘導は予定していないが、参入の状況を踏まえて、高齢者保健福祉計画を策定する際に検討したい。

自治会は自治会館がない団体も多い。住民主体サービスの推進に当たっては、サービス提供の場所の確保等の協力をお願いしたい。また、地域ケア会議には自治会からは自治会長等の代表しか出席していない。その他の場面でも制度について周知をお願いしたい。

場所の確保については、地域資源の活用や空き家の活用などを検討していきたい。また、周知については、あらゆる場면을捉えて、広く行っていく。

基準緩和及び住民主体サービスの幅広い周知と柔軟な制度の見直しを要望とする。

事業を開始していくことになると思うが、地域の方と話し合いながら、より良いものにしてほしい。

イ 総合事業の移行に伴う事業の廃止について

総合事業の移行に伴う家事援助事業及び生きがいデイサービス事業の廃止について、事務局から説明を行った。

質疑・意見等

事業の廃止について、外部に対して、説明は行っているのか。

今までに説明はしていないが、さがみはら都市経営指針実行計画に位置付けて進めているものである。

家事援助事業及び生きがいデイサービス事業利用者の総合事業への移行については、対象者が少ないとはいえ、周知期間が短いのではないかと。個々人の事情等、ケースに対応できるのか。

一人ひとりに対して、丁寧に説明を行い、総合事業等へ誘導したい。

チェックリストを受けたくない人もいる。個々のケースへの対応をお願いしたい。移行に対する対応期間が長くあればよいと思う。

民生委員でボランティアへのアンケートを実施したが、利用者が必要なことには、負担が重いものであり、やりたいサービスは軽い内容のもので、一致していなかった。

(3) 第 6 期相模原市高齢者保健福祉計画の進行管理について

第 6 期相模原市高齢者保健福祉計画の目標達成に向けた指標の進捗状況について、事務局より説明を行った。

質疑・意見等

特別養護老人ホームのベッドは空いているが、職員が不足しているため受入れができない施設があると報道等で聞いているが、職員が不足しているニーズがあるかどうか、本市の状況はどうか。

介護人材が足りていないため、受入れができない施設があるという話しは聞いていない。しかしながら、介護人材の確保及び定着は喫緊の課題として認識している。

「特別養護老人ホームへの入所を 1 年以内に希望している在宅の要介護 3 , 4 及び 5 の人数」を 0 とする目標については、施設に一定の空床を作っておかなければならないこととなり、施設側にとっては非常に負担が大きく、リスクが高い。

目標達成に向けて、推進していくが、実態を踏まえ、第 7 期高齢者保健福祉計画において目標値を設定したい。

全体を通じて、ハートポイントやキャラバンメイトなど専門用語が多く、用語の意味がわからない委員もいるため、丁寧な説明をお願いします。

今後は、用語の意味から丁寧に説明を行う。

(4) その他

利用定員 1 8 人以下の通所介護が地域密着型通所介護へ移行したことについて事務局から説明を行った。

また、今後の開催予定について、事務局から説明を行った。

4 閉会

以 上

相模原市社会福祉審議会第25回（平成28年度第1回）
 高齢者福祉等専門分科会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	出欠席
1	相澤 由美	相模原人権擁護委員協議会	出席
2	石井 正彦	相模原市自治会連合会	出席
3	石黒 雄彦	相模原市老人クラブ連合会	出席
4	内田 紀子	相模原市私立保育園園長会	出席
5	大久保 祐次	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	出席
6	島森 政子	特定非営利活動法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	欠席
7	土屋 敦	一般社団法人相模原市医師会	出席
8	戸塚 英明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席
9	西本 敬	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会	出席
10	原 裕子	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
11	吉田 幸弘	相模原市歯科医師会	欠席

（敬称略、50音順）

は専門分科会長、 は職務代理者である。